



ふじぐみだより



R5.3.1 発行

寒さの中にも、少しずつ春の暖かい日差しが感じられるようになってきました。先月は「友だちとイメージを膨らませながら、活動に取り組む」をねらいにして保育をしてきました。2月は発表会を通して、友だちと一緒に練習に取り組む事で、相手がどのような気持ちなのかを想像したり、相手を思いやって声をかけたりする姿が多く見られるようになりました。練習も含めやり遂げたという自信から、日々の生活の中で自信を持って発言することが増えました。また、友だちに対して声をかけてあげる、苦手なことも、少し踏みとどまって頑張ってみる、考えてから発言をする姿が見られてきています。このように、日々の生活を通して、今年度の年間目標「自分で考える気持ちを育てる」が育ってきたように思います。来月には子どもたちも楽しみにしている「さくら組」に進級します。自分で考える場面の他にも友達と一緒に考えたり、相手の思いについて考える場面が更に増えてきます。今年度育った気持ちを来年度は更に活かしていけたらと思っています。

至らない部分もあったと思いますが、保護者の皆様のご理解とご協力があり1年間過ごすことが出来ました。ありがとうございました。



【今月のねらい】

- ・自分で考え、様々な活動に取り組む。

【今月の活動予定】

- ・体育指導・集団遊び・製作・散歩・園庭遊び
- ・コーディネーショントレーニング



～いきいきチャレンジ～

先月は、「自分で片付けできる?」についてご紹介しました。今月は「家族や友だちについて挨拶できる?」について紹介します。4歳児になると、家族や友だちに自分から挨拶することが出来るようになります。挨拶がきっかけとなり、会話が生まれたり、友好関係が広がることにもつながります。また、「こんにちは」「いただきます」「ごちそうさま」等の挨拶を学ぶことは相手の気持ちに気づき、思いやるきっかけにもなります。そのため、子どもたちと場面にあった挨拶が出来るように、今は何の挨拶をする時間なのか等を考えるようにしています。次年度は就学に向けての10の姿についてご紹介していきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

